

評価者	環境部長	石井 康則
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	次代に向けたエネルギー・環境対策の推進
目標とすべきま ちの姿	省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等導入に向けた理解が広まり、市民力、地域力を発揮した取組が進展し、歴史と環境が調和した循環型社会システムが構築されています。 本市の住宅、事業所、公共施設では、太陽光、太陽熱、燃料電池などの再生可能エネルギー等の普及が進んでいます。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	30.3%	平成27年度	33.6%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方				お金の使い方				<p><妥当性の分析></p> <p>お金の使い方、仕事の効果ともに「ちょうどよい」と答えた割合が平成27年度は28.0%と、選択肢の中では最も多くなっている。次に多いのはお金の使い方が「足りない」、仕事の効果は「不十分」の19.5%で、この二つが選択肢の中で、突出して多くなっている。</p> <p>お金の使い方と仕事の効果両方が「ちょうどよい」と回答している割合は、施策の方針等全54件の中ではかなり低い値となっている。一方、左のグラフには表れていないが、市民意識調査結果では、お金の使い方が足りない、仕事の効果が不十分との回答は、施策の方針等全54件の中でかなり高い値となっており、今後の進め方について、「もっと力を入れるべき」と「現状のままで良い」との回答の割合が拮抗している要因であると考えられる。</p>		
仕事 の 効果	必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.2%	仕事 の 効果	必要以上の効果	1.6%		0.4%	0.0%
	ちょうどよい	1.0%	28.7%	1.6%		ちょうどよい	0.6%		28.0%	1.4%
	効果不十分	5.0%	4.0%	20.9%		効果不十分	4.1%		4.7%	19.5%
平成26年度				平成27年度						
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)										

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	28.5%	27.5%	9.0%	34.9%	100.0%
平成27年度	28.8%	26.5%	5.4%	39.3%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の改定を行うとともに、本市環境マネジメントの新たな手法の定着を図る。また、「鎌倉市エネルギー実施計画」に基づく市のエネルギー施策の進捗状況を把握・検証し、その結果を年次報告書としてまとめ、エネルギー施策の進行管理を行い、より充実した施策の展開へとつなげる。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
整理番号	事業名	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
環境-02	環境基本計画推進事業	4,922	6,417	23,794	25,463	2.5	2.5	a	A
環境-03	エネルギー計画推進事業	19,018	2,608	34,115	17,845	2.0	2.0	d	B

(3) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】 「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の改定を鎌倉市環境審議会委員への諮問・答申を受けるなどしながら行った。「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」については、各根拠法の改正を受けて、「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」に名称を変更した。本市環境マネジメントについては、新たな手法の定着を図った。また、「鎌倉市エネルギー基本計画」及び「鎌倉市エネルギー実施計画」で示している各施策について、平成26年度の実施状況を取りまとめた「エネルギー施策実施状況報告書」を作成し、進行管理を行うとともに、その効果の検証を進め、施策の展開へとつなげる仕組みを構築した。また、「エネルギー施策実施状況報告書」はホームページで公表した。(環境-02・03)</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】 平成27年度実施予定だった笛田公園管理事務所への再生可能エネルギー設備等の設置については、費用対効果等の検討の結果、見送られた。(環境-03)</p>

(4) 平成27年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の3つの計画は、別々の冊子で策定していたが、いずれの計画も平成27年度が計画期間の最終年度であり、互いに関連が強いことから、これらの計画の改定にあたり、効率化の観点から一つの冊子にまとめた。また、これらの計画は、鎌倉市環境審議会委員の意見や指導を受けながら改定作業を行うとともに、パブリックコメントを行い、その意見を踏まえて改定を行った。

平成27年3月に策定した「鎌倉市エネルギー実施計画」に基づく市のエネルギー施策の進捗状況を毎年把握・検証するため、「エネルギー施策実施状況報告書」を作成し、進行管理を行うとともに、その効果の検証を進め、施策の展開へとつなげる仕組みを構築した。

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

<p>市民意識調査結果では、当該施策の認知度が低いため、市民周知方法の工夫を図る必要がある。また、今後、当該施策を推進する「環境基本計画推進事業」と「エネルギー計画推進事業」を統合していくとともに、持続可能な循環型社会のシステム構築をめざし、平成28年3月に改定した「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」を着実に推進する。</p>

4 平成28年度の目標

<p>平成28年3月に改定した「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」をより実効性のあるものにするため、実施状況を評価し、施策の推進に反映できるような進行管理手法について検討を行う。</p> <p>「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」には、「少なくとも3年ごとに基本計画を検討し、必要に応じて見直すものとします。」と規定されているため、平成28年度に「鎌倉市エネルギー基本計画」及び「鎌倉市エネルギー実施計画」の検討・見直しを行う。</p>

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	環境-02	事業名	環境基本計画推進事業						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	市役所における紙類・文具類調達に対するグリーン適合品調達率												
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31						
本市環境マネジメントにおいて、職員がグリーン適合品を意識することは重要であるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
	実績値	94.4	99.0										
	達成率	94.4%	99.0%										
整理番号	環境-03	事業名	エネルギー計画推進事業						単位	%	指標の傾向	↘	備考
指標の内容	市内の年間電力消費量に対する再生可能エネルギー等による発電量の割合												
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31						
鎌倉市エネルギー基本計画において省エネルギーの推進を図る目安としているため 基準年度は平成22(2010)年度	目標値	-9.3	-9.4	-9.5	-9.6	-9.7	-9.9					H27実績は10月以降に把握予定。	
	実績値	-13.5											
	達成率	145.2%											

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘

・環境教育の推進とあるが、市民、事業者、観光客、行政が個々にわかりやすい内容の普及・啓発を行ってほしい。

・28年度には笛田公園管理棟への太陽光発電設備設置を予定しているが、玉縄行政センターの省エネルギー数値がどれ程なのか経過を公表してほしい。

・太陽光発電にかかる設置の工事費、経年の維持費試算等も公表してほしい。

指摘への対応、コメント等

これまでも市民の方への資源の再利用に向けたごみの分別に関する出前講座や事業者向けの環境保全に対する意識啓発事業の取組等を担当ごとに実施してきたが、平成28年3月に策定した「鎌倉市環境教育行動計画」に基づき、環境教育を分かり易い内容で、個々に普及・啓発していきたいと考えている。

平成28年度に笛田公園管理棟に設置を予定していた太陽光発電設備等は、設置するために必要な建物の耐震化工事にかかる費用について再検討したところ、費用対効果が見込めないという結論に至ったため、設置を見送った。

玉縄行政センターの電気使用量は、太陽光発電設備等の設置前の平成26年度と設置後の平成27年度で比べると約一割削減されている。今後は、エネルギー基本計画及び同実施計画の進行管理を行うためのエネルギー施策実施状況報告書に、太陽光発電設備による節電効果等を記載し、公表していく。

玉縄行政センターの太陽光発電の事業総額は、発電設備、蓄電池、配線等の工事費を含め15,579,000円であった。設備の維持については、施設全体の総合管理業務委託の中で行っている。



鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・「鎌倉市環境基本計画」、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の3つの計画は、互いに関連が強いことから、改訂にあたり、効率化の観点から一つの冊子にまとめた。
- ・「エネルギー施策実施状況報告書」を作成し、進行管理を行うとともに、その効果の検証を進め、施策の展開へとつなげる仕組みを構築した。構築の後が大事であるので期待する。
- ・環境エネルギー条例などの新たな地域でのエネルギーに関する構想を検討した。
- ・対費用効果を考慮し、笛田公園管理棟に設置を予定していた太陽光発電設備等の設置を見送った。
- ・市役所内でグリーン適合品を使用する等の努力をした。

		評価の内訳					⇒	委員会の評価
取組	↗	1	↘	0	→	7		→
効果	○	1	△	0	—	7	—	

《課題》

- ・省エネルギーに対して市民は努力しているが、再生可能エネルギーに対しては認識度はまだ低い。
- ・「エネルギー施策実施状況報告書」を作成し、進行管理を行うとともに、その効果の検証を進め、施策の展開へとつなげる仕組みの構築が求められる。
- ・エネルギー対策は施設の整備とともに、利用者側(市民や来訪者)への意識の向上も大事だと考えるが、それらへの取組内容については現時点では読み取ることができない。
- ・平成27年度実施予定だった笛田公園管理事務所への再生可能エネルギー設備等の設置についての今後の方向性の検討などが求められる。
- ・どの様な計画に基づき、どの様な取組を行った結果、どの様な効果があったのかが分からない。
- ・指標として「市内の年間電力消費量に対する再生可能エネルギー等による発電量の割合」を設定しているが、市民や事業者が再生可能エネルギー設備を導入しない限り、この数値は変わらない。

《提言》

- ・市民への省エネルギーに向けた啓発等が重要と考えられることから、節電という視点からのアプローチ、小中学校における環境教育の充実を図られたい。また、それらに合わせた目標指標の設定と進行管理を行っていただきたい。
- ・市民力、地域力を発揮した取組を進展させる意味でも重要となってくるのは、環境教育の推進ではないだろうか。そのためにも学校教育という中に、環境をテーマとした授業カリキュラムが組み込まれるようにすべきである。
- ・3種の計画は計画書を1冊子にするだけでなく、「環境に関する総合計画」として統合することも検討すべきである。
- ・市民は何故「もっと力を入れるべき」と考えているのか、具体的理由を調査すべきである。
- ・再生可能エネルギー等による発電量の割合向上に向け、行政はどの様な働きかけを行うのかを明確にし、それが確認できる指標を設定すべきである。